



産業電子モビリティグループ

半導体市場の更なる成長や
幅広い業界で進展する
電動化を商機とし、
業績回復へと邁進します

執行役員副社長
産業電子モビリティグループ長 鈴木 雅彦

経営指標

2024年度実績

受注高

867 億円

2027年度計画 1,000億円

売上高

720 億円

2027年度計画 950億円

営業利益(営業利益率)

11 (1.6%) 億円

2027年度計画 35億円 (3.7%)

※産業電子モビリティグループの対外業績数値には、EVグループの数値を含みます。

前中期経営計画
成果と課題

成果

- ▶ 電動カソリューション事業: 新規量産機投入や価格改定効果による収益性改善
- ▶ 電子機器事業: 拡販活動や生産性と品質の向上により売上高過去最高を更新
- ▶ モビリティ&S事業: 電動化進展による車両試験需要、ダイナモメータ設備のフルターンキーでの需要取り込みによる過去最高の受注獲得、及び収益性改善

課題

- ▶ 電動カソリューション事業: タイムリーな市場投入のための製品開発リードタイムの短縮
- ▶ モビリティ&S事業: お客様の要求仕様に合わせたものづくりに伴う高コスト・長納期化
- ▶ 電子機器事業: 製品・サービスをタイムリーに提供できる開発・生産体制の強化

機会

- 電動カソリューション事業
 - 電動化及び省人化ニーズ拡大
- モビリティ&S事業
 - 電動車向けシャシダイナモメータの更新需要増加
- 電子機器事業
 - 生成AIの進化などを背景とした、将来にわたる半導体需要の拡大観測

リスク

- 電動カソリューション事業
 - お客様によるコンポーネント内製化の進展に伴う需要減少
- モビリティ&S事業
 - エンジン車向け等の試験機市場縮小
 - 設備投資需要の一服
- 電子機器事業
 - 半導体市況の一時的な冷え込みや回復の遅れ

強み

- 電動カソリューション事業
 - モータードライブ(モーター制御)技術を活かした多様な製品
- モビリティ&S事業
 - 豊富な納入実績に裏付けされたお客様ニーズへの対応力
- 電子機器事業
 - 特長技術を活かした高付加価値製品の保有

「中期経営計画2027」における成長戦略

電動カソリューション事業

電動カ/産業車両分野では高い耐久性・信頼性を備えた高出力・高応答モータードライブ技術で新たな事業の柱の確立を目指します。搬送分野ではクリーン・半導体分野へ注力し、ロボット搭載型、低床台車AGVなどの販売を強化していきます。

モビリティ&S事業

既存のシェア・競争力の高い製品に特に注力し、コスト削減・部材安定確保対策を推進します。また成長性の高い開発領域に取り組み、将来の成長につなげます。

電子機器事業

先端プロセスの進化に追従する実力・スピードを獲得すべく、販売、研究開発、生産体制の強化を図り、お客様の「欲しい」を先取りする最先端プロセスに不可欠なメーカーを目指します。

成長戦略 1

建機/船舶向け量産コンポーネント機開発

既存コア技術の発展、EV駆動ユニットとの技術シナジーにより、建機や船舶、農機といった産業系モビリティの電動化を推進し売上を拡大します。

また、マーケティングを通じた市場ニーズの把握により仕様を標準化し、設計部品や設備の共通化を進めることで、多品種効率生産を実現します。

成長戦略 2

EV試験サービスプロバイダの地位確立

高シェアのシャシダイナモメータを基盤に、電動化試験において市場が拡大する電池評価へ事業を広げるとともに、車両試験の効率化・省人化に貢献するソリューションを提供していきます。

成長戦略 3

VC(真空コンデンサ)生産能力増強

半導体製造装置トップメーカーへのVC拡販により、中期的な需要の伸びが見込まれます。

生産能力増強のための設備投資を順次行うとともに、機械化・自動化による省人化・品質強化も進めていきます。



業界最低床の超低床リフト式AGV



今中計期間中にVC設備投資を予定

事業戦略を通じたマテリアリティの解決

1 カーボンニュートラル社会の実現

船舶・農機の電動化市場の開拓

中計2027展開

2 カーボンニュートラル社会の実現

EV・HEV用バッテリー充放電装置の初納入

2024年度実績

3 安心・安全・便利な社会の実現

物流分野でのニーズに応える低床型無人搬送車の販売開始

中計2027展開

TOPICS

電動化時代の試験ソリューション

モビリティの電動化を背景に、車両開発におけるスピード向上や省人化へのニーズが高まっています。こうしたニーズに応えるべく、主力製品であるシャシダイナモメータと連携するアプリケーションソフトウェアや付帯設備の開発を加速させています。

また、充放電装置の製品化を通じて、電動車両の主要コンポーネントであるバッテリー試験装置市場への参入を

果たしました。

これにより、従来から取り組んできたe-Axle、モーターなどの車両コンポーネント試験にバッテリー試験を加え、完成車両試験とのシステム連携を実現することで、熱マネジメントソリューションの提供を含むEV試験サービスプロバイダとしての地位確立を目指します。